

第2次あま市人権尊重のまちづくり行動計画策定に向けた  
市民ワークショップとりまとめ

## 【女性の人権】

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●女性のキャリア <ul style="list-style-type: none"> <li>・役職に就く女性が少ない</li> <li>・職場での社会的地位（の差）</li> <li>・職場での昇進（に差がある）</li> <li>・子育てのために仕事やキャリアを捨てる</li> <li>・仕事の継続（が難しい）</li> <li>・仕事内容（に差がある）</li> </ul> </li> <li>●家庭 <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの行事への参加（が母親の方が負担が大きい）</li> <li>・家事の負担が大きい</li> <li>・介護をするのは女性の方が多い</li> <li>・シングルマザーの貧困</li> <li>・子育てへの責任（が不平等で、女性の方が負担が大きい）</li> </ul> </li> <li>●女性のキャリア・家庭 <ul style="list-style-type: none"> <li>・残業による家庭への影響（が大きい）</li> </ul> </li> <li>●ハラスメント <ul style="list-style-type: none"> <li>・セクハラなどいやがらせ被害（を受ける）</li> <li>・マタニティハラスメント</li> </ul> </li> <li>●その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「女性は〇〇」という固定観念（が残っている）</li> <li>・接客において女性に対応すると相手の態度・言動が違う</li> <li>・女性をメインにしたマーケティング（が多い。男性向けは？）</li> <li>・DV問題</li> </ul> </li> </ul>
解決策	<ul style="list-style-type: none"> <li>●労働環境 <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事に人（女性）を多くつける</li> <li>・（女性）職員を増やす</li> <li>・（女性が）仕事を続けることができる制度を作る</li> <li>・労働時間の短縮</li> </ul> </li> <li>●女性の登用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・一定数以上女性管理者を置く</li> <li>・（女性の）役職登用率の上昇</li> </ul> </li> <li>●処分・罰則 <ul style="list-style-type: none"> <li>・（女性に対する加害への）処分を重くする</li> <li>・セクハラへの罰則強化</li> </ul> </li> <li>●相談 <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の協力（を啓発する）</li> <li>・助けてくれる人、相談できる人、味方を見つける</li> </ul> </li> </ul>

- 相談窓口を設ける
- 女性の人権を守ることができる議員（を輩出する）
- 啓発・研修
  - 啓発やセミナーなどの積極的な参加
  - 研修を開催する
  - ハラスメントをスルーできる強さ、処世術を身に着ける
  - （女性に対する）意識を改める
  - 講演等で周知する
- その他
  - 所得の平準化（男女で差をつけない）
  - 手抜き

## 【子どもの人権】

課題	<ul style="list-style-type: none"><li>●家庭<ul style="list-style-type: none"><li>・(家庭ごとの) 格差による教育差 (がある)</li><li>・(子どもへの家庭内) 暴力</li><li>・「子どもだから」意見が通らない、聞いてもらえない</li><li>・親の育児放棄</li><li>・ネグレクト</li><li>・親の(子どもへの) しつけ</li><li>・家庭での教育が一番大切</li><li>・親と子どもの関係(家庭によってさまざまな姿がある)</li><li>・子どもの年齢(の立場)になって(物事を)見る</li><li>・子どもの事(体験等)を聞く</li><li>・(子どもとの) 会話を楽しくする</li></ul></li><li>●学校<ul style="list-style-type: none"><li>・(食物等の) アレルギー</li><li>・学校でのいじめ</li><li>・教師が(子どもたちの) いじめを見て見ぬふり</li><li>・コロナ(による学校生活の変容)</li><li>・キラキラネーム</li><li>・SNS(LINE等)によるいじめ</li><li>・SNSとのつながり(を学ぶ必要がある)</li><li>・様々な人種の生徒</li></ul></li><li>●学校・家庭<ul style="list-style-type: none"><li>・LGBT等性的マイノリティの問題</li><li>・(子どもの) 人格否定</li><li>・(子どもの) 発達障害</li><li>・毒親問題</li></ul></li><li>●地域<ul style="list-style-type: none"><li>・(子どもへの) 注意の仕方</li><li>・(子どもとの) コミュニケーションの取り方</li><li>・(子どもへの) ルールの教え方</li><li>・あいさつが一番大事</li><li>・(子どもへの) あいさつはどこまでして良いのか?</li><li>・子どもたちの夢(を叶えられるような地域にする)</li></ul></li></ul>
解決策	<ul style="list-style-type: none"><li>●家庭<ul style="list-style-type: none"><li>・親(大人)への教育制度の充実</li><li>・親のSNS利用(を注意する)</li><li>・親が相談できる場所の確保</li><li>・何事にも前向きに考える</li><li>・(親や子どもの) 話を聞いてあげる</li><li>・子どもに考えさせる(先に答えを出さない)</li></ul></li></ul>

- (親子で) 笑顔で話す
- いつも優しい心でいる
- 大人同士も情報をシェアする (良いことは特に)
- (子どもと) 一緒にいてあげる時間を作る
- 他人は変わらないので、自分を変えて行動しよう
- 思ったことはすぐに行動する
- 学校
  - 学校環境 (の改善)
  - 「人権」という科目を創設する
  - 相手の気持ちを考えてみる
  - 「皆と違う」ではなく「皆違う」
- 家庭・学校
  - インターネットの怖さを教える
  - 心の教育
- 地域
  - 強いコミュニティの形成
  - 地域からの強いアプローチ (をする)
  - あいさつ、声をかける
  - 地域のイベント増加
  - 学校だけではなく、地域、各家庭の連携・情報共有
- その他
  - (親子で一緒に) 外に出て、空・雲・畑・田んぼを見してみる
  - SNS (利用の) 中止

## 【高齢者の人権】

課題	<ul style="list-style-type: none"><li>●交通<ul style="list-style-type: none"><li>・交通安全について危険を感じることもある</li><li>・移動の手段が（自家用車に）ほぼ限られている</li></ul></li><li>●相談<ul style="list-style-type: none"><li>・相談できる人が身近にいない</li><li>・妄想呼ばわりされてしまう</li></ul></li><li>●政策<ul style="list-style-type: none"><li>・単身高齢世帯で自立した生活が困難と思われる案件でも支援を受け入れられない</li><li>・高齢化社会と昔から言われているが、何も対策がなされていない</li><li>・サロンが閉鎖的</li><li>・地域からの孤立（が見られる）</li><li>・婿が孤立している</li></ul></li><li>●その他<ul style="list-style-type: none"><li>・家庭内に無断で用水・悪水を入れられ、ため池にされ、水が浸水しやすい場所になっているところがある（床上浸水しやすい場所がある）</li><li>・情報機器の取り扱いが不得手な人が多く、情報格差がないか</li><li>・災害時の避難</li><li>・新旧住人の対立（が見られる）</li></ul></li></ul>
解決策	<ul style="list-style-type: none"><li>●交通<ul style="list-style-type: none"><li>・バス路線の拡充</li><li>・巡回バスのルート、本数の増便</li><li>・高齢者から子どもまで安全に生活できるまちづくり</li><li>・オンデマンドバスの担い手を増やす</li></ul></li><li>●地域・家族<ul style="list-style-type: none"><li>・避難訓練をたくさんやる</li><li>・地域での行事を増やす</li><li>・地域での意見交換会の実施（困ったこと、相談等）</li></ul></li><li>●政策<ul style="list-style-type: none"><li>・予算の配分を変える</li></ul></li><li>●その他<ul style="list-style-type: none"><li>・水路の整備、用水と悪水をはっきり分ける</li><li>・環境問題の解決（道路に家が建つ、公道を私有地にする等）</li><li>・民間を活用した講演会を行う</li><li>・地域で（電子機器の）操作研修を開催する</li></ul></li></ul>

【同和問題】

課題	<ul style="list-style-type: none"><li>●情報<ul style="list-style-type: none"><li>・インターネットを使った偏見、差別がある</li><li>・(同和問題について) 地域が偏っている</li><li>・うわさ話や正しくない情報がたくさん出ている</li><li>・インターネットでの(同和地区)の地名一覧(が出てくる)</li><li>・正しい情報だけが流れてくるとは限らない</li></ul></li><li>●偏見<ul style="list-style-type: none"><li>・結婚(に影響がある Ex.素性を調べられる等)</li><li>・アンケート調査を見てみると、高齢者の偏見が多い</li><li>・(自分たちの世代より)親世代の方が気にしている</li><li>・そのエリア(同和地区)に住んでいるだけで差別される</li></ul></li><li>●教育<ul style="list-style-type: none"><li>・小中学校などでは、差別はほぼない</li><li>・(子どもたちは)意識していない</li><li>・市内だけの問題(あま市内の同和地区)と思われがち</li><li>・義務教育で学んでいないため、(同和問題について子どもたちが)理解していない</li><li>・(同和問題の)現状を知る機会が少ない</li></ul></li><li>●交流<ul style="list-style-type: none"><li>・地区内と地区外の交流(が少ない/無い)</li><li>・他地域との交流も増えている</li><li>・新しい家が建ち、地域外の世帯(元々同和地区の出身ではない世帯)も増えている</li></ul></li></ul>
解決策	<ul style="list-style-type: none"><li>●情報<ul style="list-style-type: none"><li>・インターネット上の(間違った)情報の削除</li><li>・正しくない情報の削除</li><li>・偽の情報を削除する</li><li>・出所が怪しい情報を信用しない</li><li>・ネットの情報を信じすぎない</li><li>・正しい情報の提供</li></ul></li><li>●偏見・交流<ul style="list-style-type: none"><li>・積極的な交流(の促進)</li><li>・他地域との交流の提供</li><li>・交流を進める</li><li>・(出身ではなく)その人物(の人となり)を見て判断する</li><li>・地域ではなく、その人個人を信用して付き合う</li></ul></li><li>●教育<ul style="list-style-type: none"><li>・高齢者への正しい知識の啓発</li><li>・全国共通の(内容の)教育</li><li>・全国的な教育の展開</li></ul></li></ul>

- |  |  |
|--|--|
|  | <ul style="list-style-type: none"><li>• 地域制限をせず、統一的な教育をする</li><li>• 啓発活動を地道に行う</li></ul> |
|--|--|

## 【外国人の人権】

課題	<ul style="list-style-type: none"><li>●イメージ<ul style="list-style-type: none"><li>・こわい時がある</li><li>・怖いイメージを持たれている</li><li>・ガタイが良く、怖い</li></ul></li><li>●コミュニケーション<ul style="list-style-type: none"><li>・日本語の説明しかない（外国語の説明手段がない）</li><li>・日本語が通じない</li><li>・話しかけづらい</li><li>・困っていそうでも声をかけられない</li><li>・意思疎通が取れない、誤解を生みそうで怖い</li></ul></li><li>●偏見<ul style="list-style-type: none"><li>・言葉の違いで目立っている</li><li>・仲間外れにされる</li><li>・感覚、文化の違い</li><li>・（国籍や肌の色によって）無意識に順位付けをしている（白人が上？黒人が下？）</li></ul></li><li>●環境<ul style="list-style-type: none"><li>・外国人自身の人権意識がまだ低い</li><li>・就職機会が不平等</li></ul></li><li>●市の対応<ul style="list-style-type: none"><li>・（外国人を）窓口対応ができる職員がいない</li><li>・外国人の人口増に対応が追い付いていない</li></ul></li><li>●対応例<ul style="list-style-type: none"><li>・いいところをほめる</li><li>・一番大切な挨拶を自分からする</li><li>・小さなことでも手を差し出す</li></ul></li></ul>
解決策	<ul style="list-style-type: none"><li>●イメージ<ul style="list-style-type: none"><li>・見た目で判断しない</li><li>・まず、あいさつを試みる</li><li>・悪いイメージを持たない</li></ul></li><li>●コミュニケーション<ul style="list-style-type: none"><li>・言葉だけではなく、身振り、手振りやスマホも（活用してコミュニケーションを図る）</li><li>・出川哲郎をイメージする（言葉が話せなくても、積極的なコミュニケーションを図る）</li><li>・どんなことでも話を聞く</li><li>・（個々人だけではなく）コミュニティで受け入れる</li></ul></li><li>●市の対応<ul style="list-style-type: none"><li>・（外国人への対応を学ぶための）研修（をする）</li></ul></li></ul>

●コミュニケーション、市の対応

- 交流の場（特にスポーツ）の提供  
→スポーツであれば、ルールが同じなので言葉が通じなくても一緒にプレイできる
- SNS（でのつながり）
- 飲み会（や会食を通じて親睦を深める）

●偏見

- 相手の気持ち（を考える）
- 学校教育等で文化、宗教等の勉強（教育）を行う

●環境

- 企業へのポイント付与（外国人を採用することでメリットになるような制度の創設）
- 外国人に対し、日本人が実施している人権教育について教える（日本人の人権教育について外国人にも知ってもらう）

【障がいのある人の人権】

課題	<ul style="list-style-type: none"><li>●ハード面<ul style="list-style-type: none"><li>・バリアフリー（の整備が十分ではない）</li><li>・水害対策（が十分ではない）</li><li>・災害について、障がい者に対する避難（方法等が整備されていない）</li><li>・階段しかない施設がある（バリアフリーではない）</li></ul></li><li>●ソフト面<ul style="list-style-type: none"><li>・やまゆり園の事件・・・被害者の氏名公表の件</li><li>・障がい者雇用（が進んでいない）</li><li>・（障害のある人が）身近にいない（ので、実感がわからない）</li><li>・隣同士で話し合いができない</li><li>・隣に住む人が、自分のものと他人のものとの区別がついていない</li><li>・事件が起きると、「あの人かな・・・」とってしまう</li></ul></li></ul>
解決策	<ul style="list-style-type: none"><li>●ハード面<ul style="list-style-type: none"><li>◇常時<ul style="list-style-type: none"><li>・建築許可時点で、（バリアフリー）対応したもののみ許可する</li><li>・普段から（障がいのある人について）意識する</li><li>・（身体障がい者に配慮して）自動扉や前後どちらにも開く扉、引き戸にする</li><li>・小中学校の体育館入り口にスロープを作る</li><li>・障がい者用トイレを作る</li><li>・スロープやエレベーターの設置等、段差のない（施設を整備する）</li></ul></li><li>◇非常時<ul style="list-style-type: none"><li>・災害時の福祉避難所の決定（スロープや障がい者用トイレのある施設）</li><li>・広い避難路を整備する</li><li>・避難計画で（障がい者の）避難場所を指定する</li></ul></li></ul></li><li>●ソフト面<ul style="list-style-type: none"><li>・おかしいなと思ってもかかわりたくない人が多い</li><li>・若くても認知症の人がいる（ので対策が必要）</li><li>・（障がいについて）知ってもらう機会を増やす</li><li>・こちらの常識とそちらの常識が違う（ということ十分に理解する）</li><li>・身体障がい、療育、精神障がいについての正しい理解（を身に着ける）</li></ul></li></ul>

【感染症と人権】

<p>課題</p>	<p>◆いじめ、差別          ↑（下記の項目が原因となり、いじめや差別につながる）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 正確な情報がない</li> <li>・ 誤った情報（がいまだに信じられている）</li> <li>・ 次から次へと新しい感染症が発生し、一昔前の病気になってしまった。（ハンセン病）</li> <li>・ デマでも信じる人たちがいる</li> <li>・ （感染症等に対する）理解がない</li> <li>・ 世代により病気に関する考えが違う</li> <li>・ 偏見（がある）</li> <li>・ ワクチンを打たない自由（に対する無理解）</li> <li>・ 効果的な治療がない</li> <li>・ （感染）拡大防止に適切な措置がない</li> <li>・ 隔離した事実が消えない（ハンセン病）</li> </ul>
<p>解決策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 正確な情報がない</li> <li>○ 誤った情報（がいまだに信じられている）</li> <li>○ 次から次へと新しい感染症が発生し、一昔前の病気になってしまった。（ハンセン病）</li> <li>○ デマでも信じる人たちがいる</li> <li>○ （感染症等に対する）理解がない</li> <li>↓（上記に対する解決策として）</li> <li>・ 国による正確な情報の提供</li> <li>・ 定期的なメディアでの取り扱い</li> <li>・ 寄付などの扱いを大きくする</li> <li>・ 複数の媒体での情報の取り扱い</li> <li>・ 正しい情報の提供</li> <li>・ 教育</li> <li>・ 被害団体からの発信</li> <li>・ 感染者からの体験談を聞く</li> <li>・ ポスター等で関心を持ってもらう</li>   <li>○ 世代により病気に関する考えが違う</li> <li>○ 偏見（がある）</li> <li>↓（上記に対する解決策として）</li> <li>・ 世代間の意見交換会</li>   <li>○ ワクチンを打たない自由（に対する無理解）</li> <li>○ 効果的な治療がない</li> <li>○ （感染）拡大防止に適切な措置がない</li> <li>○ 隔離した事実が消えない（ハンセン病）</li> </ul>

↓（上記に対する解決策として）

- 治療薬等の開発
- 思いやり
- 感染症に関する専門的医療体制の充実
- 厳格な対策
- 規則・罰則の強化
- 積極的な研究への国費の支出
- 治療結果の発信
- 研究の情報公開

## 【性的マイノリティの人権】

課題	<ul style="list-style-type: none"><li>○法<ul style="list-style-type: none"><li>・法律が追いついていない</li><li>・結婚できない</li></ul></li><li>○偏見<ul style="list-style-type: none"><li>・偏見の目で見えてしまう</li><li>・周りとは違う</li><li>・仲間外れ、いじめ（にあう）</li></ul></li><li>○SNS<ul style="list-style-type: none"><li>・メディアの影響が大きい（芸能バラエティなど）</li></ul></li><li>○理解<ul style="list-style-type: none"><li>・正しく理解すること（が大事）</li><li>・知識がない</li><li>・よく分からない</li><li>・解決の仕方が分からない</li><li>・（それぞれの）「普通」が分からない</li></ul></li><li>○間違った常識<ul style="list-style-type: none"><li>・「普通」が当たり前の考え（としている）</li><li>・（マイノリティにも）歴史・風習がある（ことを理解する）</li><li>・親が（普通であることを）押し付けてしまう</li><li>・幼少期から（の認識、偏見）</li></ul></li><li>○悩み<ul style="list-style-type: none"><li>・相談できない</li><li>・悩みを打ち明けられない（相談できる相手がいない）</li></ul></li><li>○外見<ul style="list-style-type: none"><li>・表現が自由にできにくい</li><li>・見た目決めつけられて言われる（注意される）</li><li>・見た目判断される</li></ul></li></ul>
解決策	<ul style="list-style-type: none"><li>○法<ul style="list-style-type: none"><li>・法改正、条例整備</li></ul></li><li>○偏見<ul style="list-style-type: none"><li>・人の気持ちを大切に</li></ul></li><li>○SNS<ul style="list-style-type: none"><li>・多種多様な人材をメディアで取り上げる</li><li>・正しい情報発信</li><li>・情報を正しく取り入れる</li></ul></li><li>○理解<ul style="list-style-type: none"><li>・研修、勉強会（の開催）</li><li>・意見交換をする</li><li>・話し合うことが一番大切です</li></ul></li></ul>

・小さなことでも自分の事として考える

○間違った常識

・幼少期から多様性の教育をしていく

・小さいころからの学習

○悩み

・公的な相談所の設置

・（悩みを相談する）機会を作る

・ひとりで悩まず、（誰かに）話してみる

○外見

・個性の尊重

↓（上記を総合して）

◆自由

・「自由」を全体で見直す

## 【インターネットによる人権侵害】

課題	<ul style="list-style-type: none"><li>◆問題<ul style="list-style-type: none"><li>・個人情報を流す</li><li>・間違った情報を流す</li></ul></li><li>↓（上記の問題に対する原因として）</li><li>◆原因<ul style="list-style-type: none"><li>○故意（送り手）<ul style="list-style-type: none"><li>・相手が判らないので言いたい放題になる</li><li>・顔が見えないため強い発言となる</li><li>・匿名での誹謗中傷</li><li>・相手の表情が見えない</li></ul></li><li>○（受け手）<ul style="list-style-type: none"><li>・知らない間に加害者になっているかもしれない</li><li>・送り手の意思とは違う解釈となり、トラブルとなる</li><li>・文章で受け取り方が違うので難しい</li><li>・嫌なことは気にしない、無視</li><li>・若い人は気にしやすい</li></ul></li></ul></li><li>↓（上記の問題の原因を解決するための課題として）</li><li>◆解決への課題<ul style="list-style-type: none"><li>・人権侵害に対しての罰則が緩い</li><li>・表現の自由が優先されている</li><li>・被害にあった時にどこへ訴えるのか分からない</li><li>・良い意見は学ぶ</li><li>・インターネットは100%信用しない、自分で判断する</li></ul></li></ul>
解決策	<ul style="list-style-type: none"><li>○機関<ul style="list-style-type: none"><li>・救済機関の設置</li><li>・発信自体に規制をかけるのではなく、問題に対処できる体制を作る</li><li>・中国のように国が管理するのは行き過ぎ</li><li>・行政機関によるパトロール</li></ul></li><li>○匿名<ul style="list-style-type: none"><li>・発信するときは匿名でもよいが、問題が起きた時には簡単に特定できる制度を構築</li><li>・匿名ではなく、実名で正体を明かす</li><li>・匿名であっても、調べれば分かるということを意識させる</li></ul></li><li>○法整備<ul style="list-style-type: none"><li>・厳罰化</li><li>・罰則を科す</li></ul></li><li>○教育<ul style="list-style-type: none"><li>・ネットの正しい使い方を学ぶ</li><li>・線引きできるようにガイドラインを整備、周知、教育</li></ul></li></ul>

◆個人

- 誤解を受ける表現をしない
- あいまいな情報を流す前に確認をとる
- 自分の意に沿わないことは気にすることはない
- 人それぞれ考え方が違う。参考程度にしては？